

東北地方 3か月予報

(11月から1月までの天候見通し)

平成23年10月25日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

11月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

気温は、高い確率50%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

12月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多い見込みです。

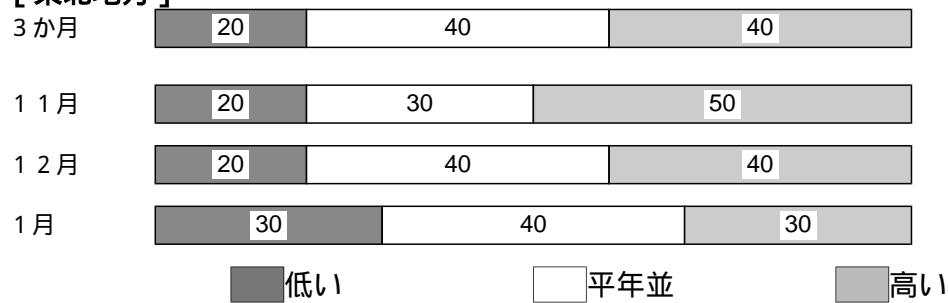
気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。

1月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

<向こう3か月の気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)>

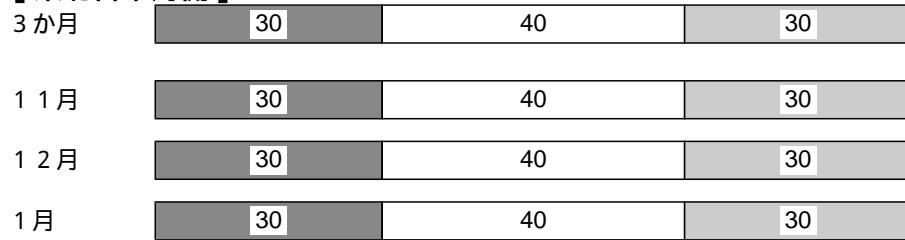
<<気温>>

[東北地方]

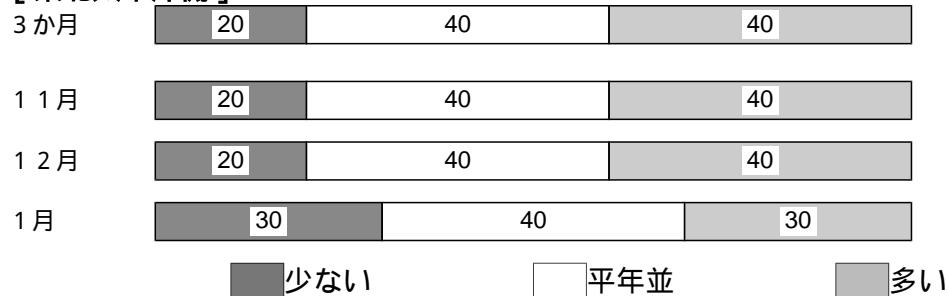


<< 降水量 >>

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



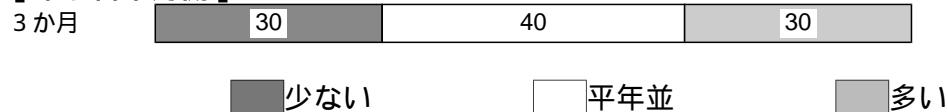
■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

<< 降雪量 >>

[東北日本海側]



■ 少ない

□ 平年並

■ 多い

< 次回発表予定等 >

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は10月28日

3か月予報：11月24日(木) 14時

11月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

なお、最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ寒候期の天候について検討しましたが、9月22日に発表した寒候期予報の内容に変更はありません。

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 平年値(月・3か月平均気温、降水量、日照時間、降雪量)

	気温()				降水量(mm)				日照時間(時間)			
	11月	12月	1月	11月～1月	11月	12月	1月	11月～1月	11月	12月	1月	11月～1月
青森	6.8	1.5	-1.2	2.4	137.7	150.8	144.9	428.8	87.6	52.8	51.3	193.0
深浦	7.7	2.5	-0.2	3.3	146.9	132.9	101.8	378.5	64.9	31.6	26.9	125.3
むつ	6.5	1.3	-1.4	2.1	117.4	103.7	103.1	320.6	102.9	71.2	71.6	247.5
八戸	6.9	1.8	-0.9	2.6	62.0	49.1	42.8	149.1	133.3	124.5	130.8	390.2
秋田	7.9	2.9	0.1	3.6	185.8	160.1	119.2	461.5	82.7	45.1	39.9	169.1
盛岡	5.9	1.0	-1.9	1.6	90.2	70.8	53.1	208.5	116.9	101.6	116.9	336.7
大船渡	8.3	3.6	0.8	4.2	94.1	50.4	49.9	190.8	134.9	132.0	142.8	410.6
宮古	7.8	3.1	0.3	3.7	80.1	64.8	60.6	201.4	147.3	147.4	161.0	457.0
仙台	9.4	4.5	1.6	5.2	65.1	36.6	37.0	134.3	139.6	138.6	148.1	425.2
石巻	8.5	3.5	0.7	4.2	66.6	33.6	34.9	134.3	147.5	149.3	165.5	462.8
山形	7.4	2.6	-0.4	3.2	84.5	82.7	83.0	249.2	99.2	80.7	84.8	265.0
新庄	6.4	1.6	-1.1	2.3	188.7	223.6	208.2	613.2	62.3	38.8	38.5	138.8
酒田	9.3	4.5	1.7	5.1	225.0	204.0	168.1	594.9	81.9	43.9	39.4	166.1
福島	9.2	4.4	1.6	5.0	65.5	41.8	49.4	155.6	128.3	125.2	132.0	384.7
若松	7.1	2.2	-0.6	2.9	78.9	93.8	95.3	267.3	86.8	70.7	78.5	235.5
白河	7.8	3.0	0.3	3.7	69.8	36.0	38.9	143.5	144.8	152.0	151.2	447.2
小名浜	11.1	6.4	3.8	7.1	82.4	44.4	52.8	179.2	160.5	183.6	189.8	533.6

	降雪量(cm)			
	11月	12月	1月	11月～1月
青森	32	153	225	411
深浦	9	67	110	188
むつ	18	91	168	280
八戸	6	40	77	123
秋田	11	74	138	224
盛岡	10	53	85	148
大船渡	2	11	19	31
宮古	0	16	33	50
仙台	0	9	21	33
石巻	1	6	14	22
山形	10	77	148	241
新庄	22	154	283	461
酒田	8	56	122	186
福島	1	28	74	106
若松	6	83	171	265
白河	2	21	58	84
小名浜	-	-	-	-

欠測により平年値を求めるための資料年数(観測値のある年数)が各月毎に異なることなどにより、3か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。小名浜の降雪量の平年値はありません。

(2) 1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要素	予報対象地域	11月	12月	1月	11月～1月
気温平年差()	東北地方	-0.3～+0.5	-0.1～+0.4	-0.3～+0.7	-0.2～+0.4
	東北日本海側	-0.3～+0.5	-0.2～+0.5	-0.3～+0.6	-0.3～+0.4
	東北太平洋側	-0.3～+0.5	-0.1～+0.4	-0.3～+0.7	-0.2～+0.4
降水量平年比(%)	東北地方	85～105	74～97	74～107	85～114
	東北日本海側	93～105	91～105	88～109	95～108
	東北太平洋側	69～113	60～101	57～116	80～117
降雪量平年比(%)	東北地方	29～94	74～116	90～107	80～116
	東北日本海側	22～108	74～118	94～111	85～111
	東北太平洋側	28～80	69～123	81～99	79～111

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間ににおける各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。

東北地方 3か月予報解説資料（11～1月）

平成23年10月25日 仙台管区気象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

11～1月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
11月	気温は、高い確率50%です。 降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
12月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。 降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。
1月	

2. 寒候期予報の見直しについて

最近の天候経過と新しい予測資料をふまえ寒候期の天候について検討しましたが、9月22日に発表した寒候期予報の内容に変更はありません。

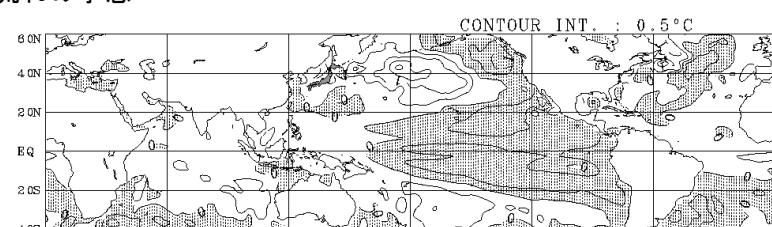
3. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

海面水温(上図)は、インド洋から西部太平洋の熱帯域では平年より高く、中・東部太平洋熱帯域では平年より低くなる見込み。秋から冬にかけてラニーニャ現象が発生する可能性がある。

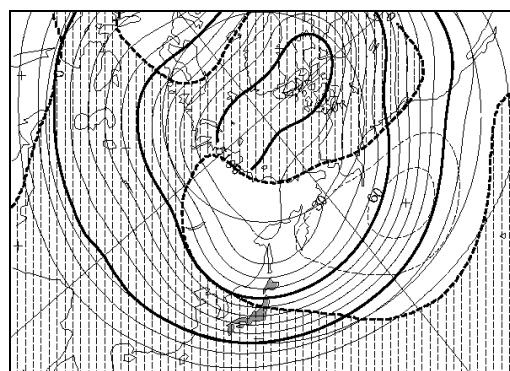
熱帯の対流活動(図略)は、インド洋から西部太平洋にかけて平年より活発の予想で、これに対応

して偏西風は、ユーラシア大陸で強く平年より北を流れるが、日本付近では平年より弱く、1月は平年より南を流れる見込み(図略)。

また、熱帯の対流活動は中部太平洋から東部太平洋にかけて平年より不活発の予想で、これに対応して500hPa高度(中図)は、アリューシャンの南が顕著な正偏差となり、北日本はこの正偏差域におおわれる。アリューシャン低気圧は平年より弱く季節風が弱いため、東北地方は暖かい空気におおわれ、3か月平均気温は高温傾向が予想される。



3か月平均の海面水温偏差の予想図
等高線間隔は0.5°C。陰影部は負偏差。



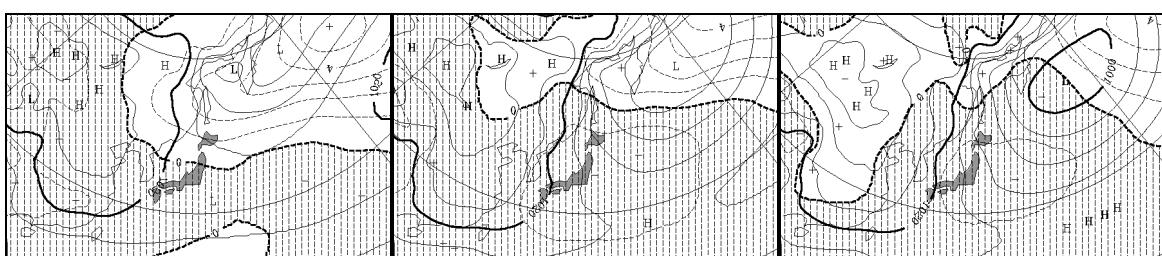
3か月平均の500hPa高度と偏差の予想図

月別の予想(下図)

11月：大陸から本州付近にかけて負偏差域がのびている。東北地方は高気圧や低気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変わるが、低気圧や前線の影響を受けやすい見込み。アリューシャン低気圧が平年より弱く、東北地方は暖かい空気におおわれ、高温が見込まれる。

12月：日本付近は広く負偏差におおわれる。東北地方は低気圧や前線の影響を受けやすい見込み。アリューシャン低気圧が平年より弱く冬型の気圧配置は長続きしない予想で、平年より大陸からの季節風が弱く高温傾向が見込まれる。

1月：日本付近は広く負偏差におおわれる。アリューシャン低気圧が日本に近いところで発達し、冬型の気圧配置が強まる。東北地方は平年と同程度に寒気の影響を受けると見込まれる。



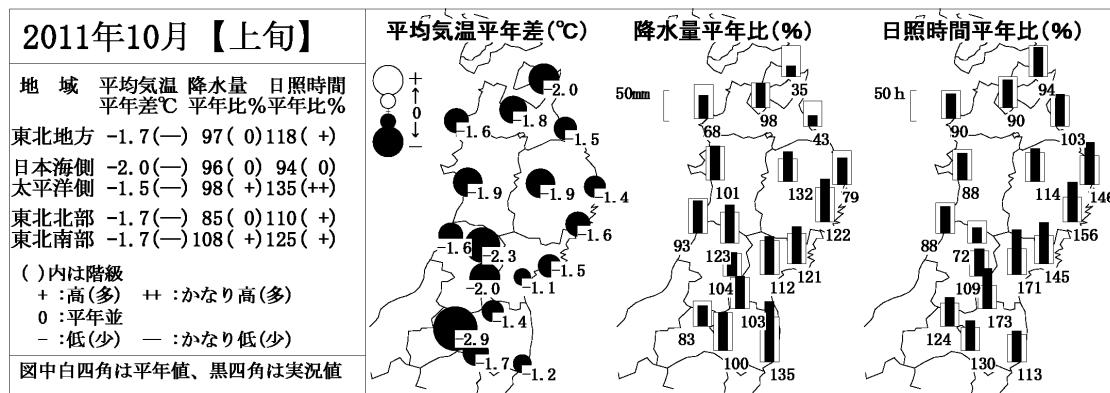
月平均の海面気圧と偏差の予想図

左から11月、12月、1月。実線は海面気圧(間隔4hPa)、点線は偏差(間隔1hPa)。陰影部は負偏差。

4. 最近の天候経過

10月上旬：この期間、東北日本海側は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くったが、期間の終わりは高気圧におおわれて晴れた。東北太平洋側は高気圧におおわれて晴れの日が多くった。5日から6日にかけて低気圧が本州南岸から三陸沖を北東進したため各県で大雨となったところがあった。7日は北海道付近を低気圧が東進したため、山形県と秋田県で大雨となったところがあった。期間の前半に強い寒気が流れ込んだため、気温はかなり低くなかった。

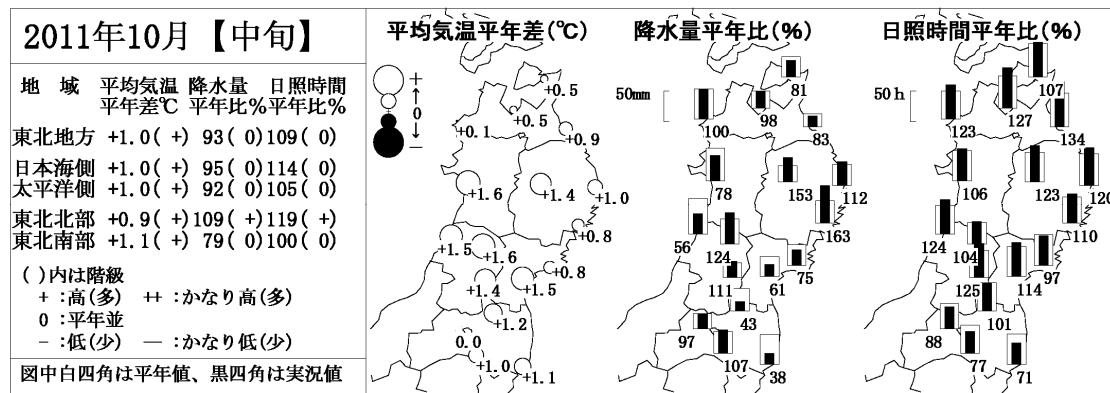
平均気温は東北地方でかなり低い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で多い。日照時間は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。



10月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

10月中旬：この期間、高気圧におおわれて晴れの日が多くった。15日から16日にかけて低気圧が本州付近を通過したため、15日は秋田県と岩手県で大雨となり、16日は山形県、岩手県、宮城県で大雨となったところがあった。期間の中頃を中心に暖かい空気が入り、気温は高くなかった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。

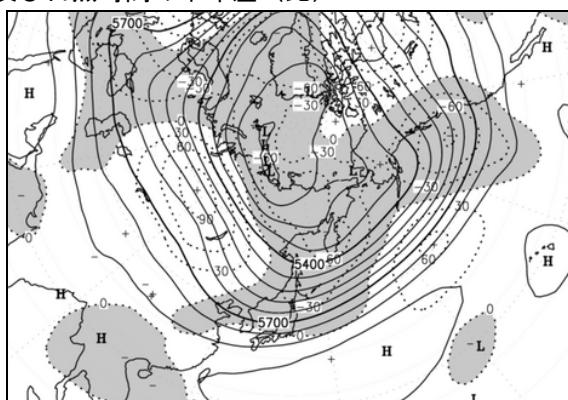


10月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

5. 今月の循環場の特徴

10月(20日まで)：500hPa高度は、中緯度帯で偏西風の蛇行が明瞭で、日本付近は気圧の谷となり北日本から東日本にかけて負偏差となった。また、日本付近は北が負偏差、南が正偏差となり高度線の間隔が狭くなった。

東北地方は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。上旬は9月30日に低気圧が通過したあと強い寒気が南下したため、気温がかなり低くなかった。



10月1日～20日の平均500hPa高度
実線は高度（間隔60m）、点線は偏差（間隔30m）。陰影部は負偏差。

＜参考資料＞

平年の天気出現日数（日）

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
11月	9. 8	16. 9	8. 9	18. 1	14. 3	11. 9	18. 0	6. 2	10. 9	11. 9	16. 3	6. 6
12月	5. 6	20. 7	4. 2	21. 4	13. 7	11. 2	18. 6	4. 7	8. 9	14. 1	16. 5	6. 9
1月	4. 7	22. 3	3. 2	21. 2	15. 3	9. 9	19. 7	5. 3	9. 7	15. 1	17. 3	8. 1

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。